

## 令和7年度第2回札幌方面東警察署協議会議事概要

- 1 開催日時  
令和7年9月18日（木） 午後4時00分から午後5時20分までの間
- 2 開催場所  
札幌方面東警察署 署長室
- 3 出席者
  - (1) 北海道公安委員会  
委員 山村美雪
  - (2) 協議会委員 8人（定員8人）  
会長 佐々木厚史  
副会長 清水拓也  
委員 川谷隆司  
委員 井千香子  
委員 長江一司  
委員 山田信子  
委員 種村愛  
委員 川端教文
  - (3) 警察署員  
署長 長谷川孝之  
副署長 松岡貞貴  
刑事・生活安全官 松田下辺優博  
地域官 田佐伯利博  
交通官 佐宮伯佳  
警務課長 宮下佳憲（庶務担当）
- 4 会長挨拶
- 5 署長挨拶
- 6 審議
  - (1) 要望意見に対する取組状況  
交通官  
元町小学校交差点対策の取組状況  
ア 要望意見（令和7年6月23日）  
元町小学校の近くのスクランブルになっていない交差点を斜め横断する方が多いため、新入学の時期だけでも警察官に立ち寄りしてもらって抑止してほしい。  
イ 警察の取組（措置）  
道路環境の整備として、斜め横断を可能とするスクランブル交差点の設置について検討しましたが、警察庁で示している設置基準（繁華街、駅周辺等）に該当せず、元町小学校周辺では交差点をスクランブル方式にはできない状況でした。  
前回の協議会以降、主に小学校の登下校時間帯を中心に制服警察官が交差点において児童や自転車利用者に声掛けをして、交差点の正しい横断方法を周知しました。  
また、7月3日に交通課員が元町小学校で開催されたスクールゾーン実行委員会に参加し、歩車分離式の交差点であっても斜め横断はせずに横断歩道を渡るように児童への指導依頼をしたほか、その内容を「スクールゾーン実行委員会だより」により各家庭に周知しております。
  - (2) 業務説明  
ア 交通官  
特定小型原動機付自転車の概要説明  
イ 刑事・生活安全官  
刑事業務の推進状況
  - (3) 協議テーマ  
警察署長  
薬物事犯の現状と対策

## 7 質疑応答及び要望意見

委員 若年層による犯罪が増えているという印象を受けました。子供達の薬物汚染も進んでいるようですが、子供が覚醒剤や大麻を購入する大金をどのように用意しているのでしょうか。また、どこで手に入れるのでしょうか。

警察 薬物は、小分けにして売られています。仲間でお金を出し合って購入することが多いようです。

入手先は、主にSNSになります。売人も巧に隠語や絵文字を使って、規制にかからないようにしています。

委員 SNSの有用性と危険性については、正確な知識と十分な注意が必要です。

警察 実際には、どのようなSNSでやりとりがされているのでしょうか。

委員 最初は一般的なSNSです。その後は、秘匿性の高いアプリに誘導されて直接のやり取りに引き込まれてしまいます。

委員 本当に色々な危険が潜んでいることを再認識しました。少女が麻薬を入手することができる、本当に怖い世の中ですので、今後も警察署の指導を受けて、対策を立てていきたいと思えます。

## 8 次回、協議事項の検討

委員 先ほど、暴行事件とか傷害事件とかが増えているとおっしゃったのですがその境目ですとか、DVとかの絡みについて参考になる話が聞けたらと思えます。

委員 各地でヒグマが出ていて、駆除しなければいけない場合は発砲という形になりますが、これまでは警察の発砲許可が必要でしたが、9月に法改正となり市町村の判断でハンターに発砲を依頼できる仕組みになりました。

新しい仕組みになることで、最終判断は市の判断となるのですが、実際には警察の協力をいただきながら対応していきたいと考えています。

東区でも令和3年にヒグマが出て発砲に至った事案がありました。それまでに予防的な対応がありますが、情報共有や連絡体制が大事だと思いますので、これを要望という形でお願いします。

警察 それでは、今回は、暴行傷害について、とヒグマ対策について御説明させていただきます。

## 9 次回の開催予定

(1) 令和7年12月の開催を予定

(2) 協議テーマ

ア 暴行罪と傷害罪について

イ ヒグマ対策について